

対人関係心理学 I

科目ナンバリング SOP-103
選択 2単位

大江 朋子

1. 授業の概要(ねらい)

人はさまざまな行動をとるが、何がそれらの行動を生じさせているのだろうか。ここでは、社会心理学で扱われる主要な対人行動が生じる原因についての理解を深める。たとえば、残酷なまでに他者を傷つけてしまうのはなぜか、自分を犠牲にしても他者を助けるのはなぜか、ある集団の人たちを差別してしまうのはなぜか、対人行動にメディア接触は影響するかなどの問題を扱う。研究の方法を具体的に把握するために、(1)実験や調査のデモンストレーションを行う機会、(2)現在進行している研究に参加する機会、(3)近年注目されている研究の内容を外部講師にわかりやすく解説してもらう機会を設ける。

2. 授業の到達目標

- ①社会心理学で扱われる主要な対人行動が生じるに至る心理過程について、この分野の専門的な知識を用いて説明することができる。
- ②社会心理学の研究を批判的に検討することができる。

3. 成績評価の方法および基準

- ①専門的知識の習得状況を知るための試験の成績(70%)
- ②社会心理学の研究を批判的に検討できるかを調べるための課題の成績(30%)

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

- ・配布プリントの内容を予習復習し、基礎的な専門用語を覚える。
- ・授業中に出た課題をする。
- ・授業中に指定された文献を読む。

6. その他履修上の注意事項

- ・教室の大きさに合わせて、受講者数を制限することがある。その場合、初回授業の出席に基づいて抽選を行うため、初回授業には必ず出席すること。
- ・資料配布および課題提出には、帝京大学のLMSまたはWeb File Serverを利用する。
- ・テキストは指定しない。各授業回の資料は、事前に、帝京大学のLMS(またはWeb File Server)にアクセスし、各自でプリントアウトしておく。参考文献は適宜紹介する。
- ・調査や実験を主とする研究に参加し、その研究についての解説を受ける機会を設ける予定である。これらの研究の実施から報告までのいずれの過程においても、研究参加者の匿名性には十分配慮する。結果の報告には、参加者全体のデータを統計的に分析した結果が用いられ、個人を特定できる情報が含まれることはない。

7. 授業内容

- 【第1回】 対人関係心理学 I で扱う範囲と授業の方針を説明する
- 【第2回】 攻撃行動の定義と種類について学ぶ
- 【第3回】 攻撃行動の代表的研究を学ぶ
- 【第4回】 攻撃行動に影響する要因について学ぶ
- 【第5回】 援助行動の代表的研究を学ぶ
- 【第6回】 援助行動と共感性の関係を学ぶ
- 【第7回】 援助行動に影響する要因について学ぶ
- 【第8回】 恋愛・配偶行動の定義と種類について学ぶ
- 【第9回】 恋愛・配偶行動の代表的研究を学ぶ
- 【第10回】 恋愛・配偶行動に影響する要因について学ぶ
- 【第11回】 集団間関係の代表的研究を学ぶ
- 【第12回】 集団間関係に影響する要因について学ぶ
- 【第13回】 集団間関係を改善させるためのモデルを学ぶ
- 【第14回】 近年注目される対人関係心理学の研究を学ぶ(外部講師)
- 【第15回】 日常生活における対人関係心理学の意義と課題について学ぶ